

寺澤 大祐（てらざわ だいすけ）

岐阜県総合医療センター 新生児内科 主任医長

1995年 高富町立（現山県市立）高富中学校 卒業。

1998年 岐阜県立岐阜高等学校 卒業。

2005年 宮崎大学医学部医学科 卒業。

高山赤十字病院、岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、厚生労働省医政局 小児周産期医療専門官、長良医療センター新生児科医長、岐阜県総合医療センター新生児内科医長、岐阜大学医学部臨床講師を経て、2025年4月より現職。



【おもな受賞歴】

2025年 日本新生児成育医学会教育委員会 最優秀講師賞

2025年 風に立つライオン・オブ・ザ・イヤー2025 鎌田賞

医学・医療

小児科専門医・指導医（日本小児科学会認定）
周産期（新生児）専門医・指導医（日本周産期・新生児医学会認定）
暫定フォローアップ認定医（日本新生児成育医学会認定）
日本周産期・新生児医学会 評議員、広報委員会幹事、DEI推進委員、世界早産児デーWG委員
日本呼吸療法医学会 代議員、小児在宅人工呼吸検討委員会委員長
日本新生児成育医学会 代議員、教育委員、病気・ケアの解説作成WG委員、利益相反委員
新生児医療連絡会 幹事
赤ちゃん成育ネットワーク 周産期からの子育て委員会委員長
厚生労働省 災害時小児周産期リエゾン 研修委員・岐阜県リエゾン
新生児蘇生法インストラクター・クオリティマネージャー
岐阜大学医学部 非常勤講師・岐阜医療科学大学 非常勤講師

学校教育

岐阜県教育委員会 いのちの教育アドバイザー
岐阜市教育委員会 生命の尊厳・生き方の探究学習スーパーバイザー
岐阜市学校保健会 副会長
岐阜市人権教育・啓発推進協議会委員

社会活動

特定非常利活動法人 ひなたぼっこぎふ 副理事長
公益財団法人 風に立つライオン基金 専門団
「医療的ケア児・者」支援者の会 会長
世界早産児デー岐阜プロジェクト実行委員会 会長

（以上、2026年4月現在）

学生時代から25年以上に渡りさだまさしさんと交流があり、彼の小説「眉山」「風に立つライオン」（共に幻冬舎）の医学監修を務めた。

書籍として「小児在宅人工呼吸療法マニュアル第2版（監修 寺澤大祐 他、日本呼吸療法医学会 小児在宅呼吸療法検討委員会、2022年）」「今日の治療指針2025（分担執筆、医学書院、2025年）」「NICU100のコツ（分担執筆、中外医学社、2024年）」「在宅医療が必要な子どものためのケアテキストQ&A 改訂2版（分担執筆、メディカ出版、2023年）」「風に立つライオン（宮崎医科大学すずかけ祭ライオン企画編 編集長、不知火書房、2006年）」など多数。

岐阜県PTA連合会広報誌で2025年9月に公開された書き下ろしエッセイ「いのちの理由 学ぶということ」は、岐阜県内外の教育関係者や保護者らから多くの反響が寄せられている。
<https://gifu-pta.jp/magazin/reason-for-life/>



2024年1月には、9月18日を【「医療的ケア児・者」支援の日】と制定し登録*した。

*日本記念日協会ホームページ記載：「医療的ケア児・者」支援者の会（会長・岐阜県総合医療センター新生児科医・小児科医の寺澤大祐氏）が制定。日常生活、社会生活において医療的ケアを受けることが不可欠な医療的ケア児・者とされる方々とその家族、支援者らの存在を広く社会に知ってもらい、医療・福祉・教育・介護などの垣根を越えた取り組みを推進していくことが目的。日付は「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が制定された2021年9月18日から。